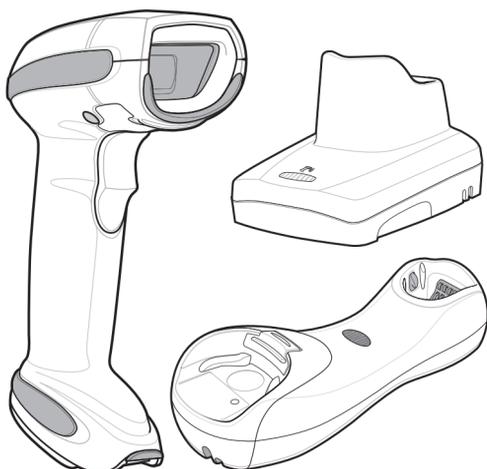


LI4278 LINEAR IMAGER クイックスタート ガイド

詳細は、『Product Reference Guide』を参照してください。

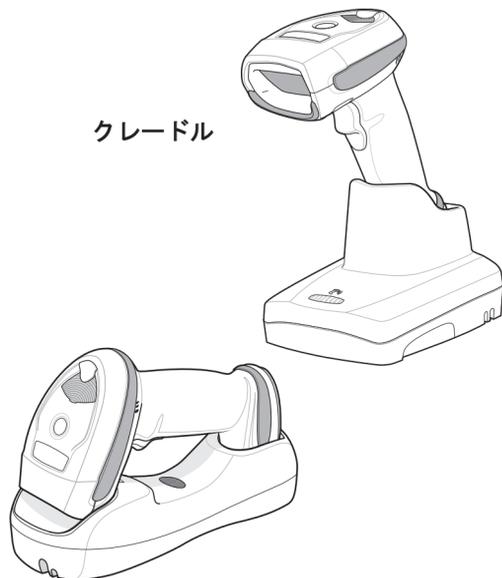
http://www.zebra.com/li4278
作業領域に標示してください



- 1 スキャンウィンドウ
- 2 スキャントリガ
- 3 LED
- 4 ビープ音

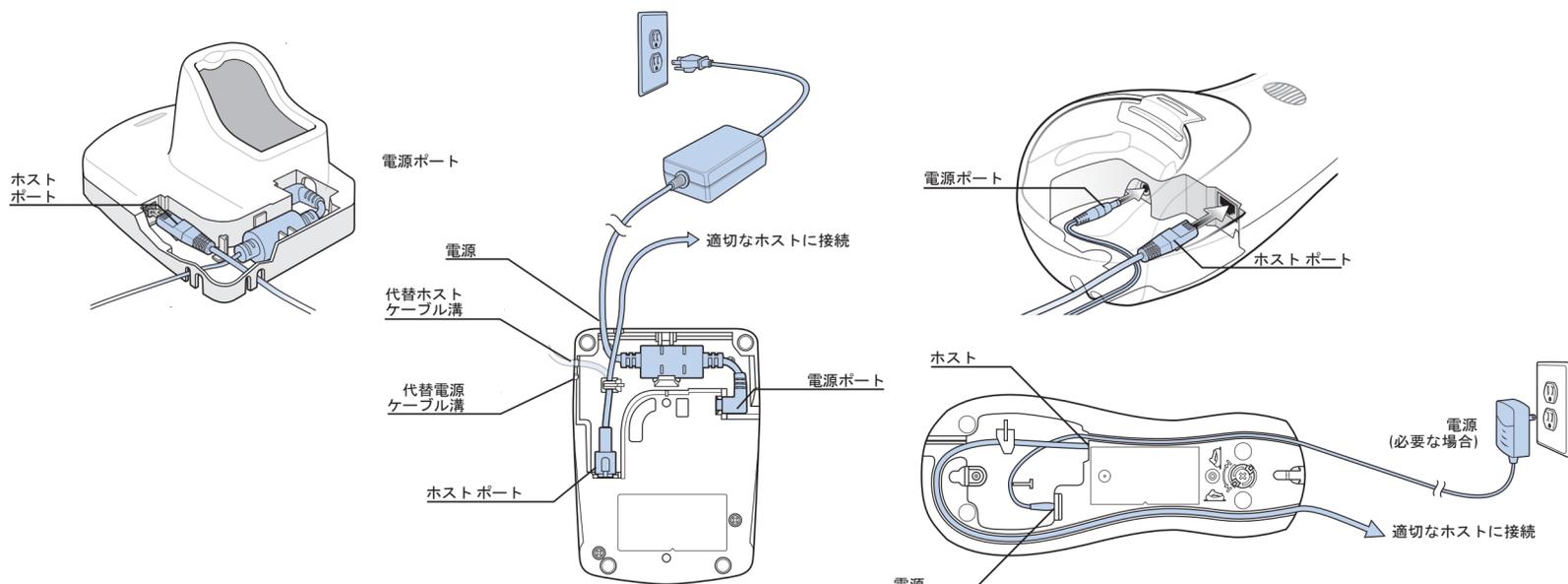


クレードル



クレードルのセットアップ方法の詳細については、『LI4278 Product Reference Guide』またはクレードルの『Quick Reference Guides』を参照してください。充電時には、クレードルの電源を使用すると充電時間が短縮されます。

手順1-クレードルケーブルの接続

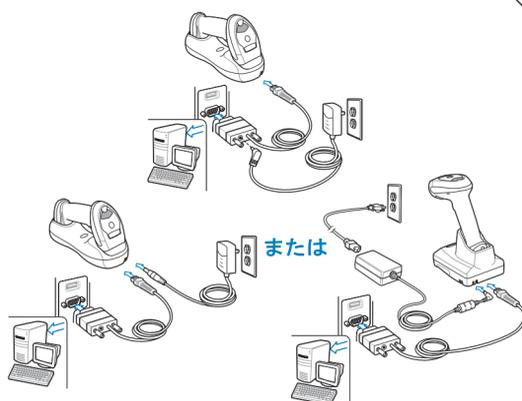


重要: 終日使用する最初の日の前に、Linear Imager のスキャナーを24時間充電してください。

手順2-ホストインターフェースへの接続

注意: 必要なケーブルは設定によって異なります。

RS-232



手順3-インターフェースのセットアップ (ホストバーコードのスキャン)

RS-232

下のバーコードのいずれかをスキャンします



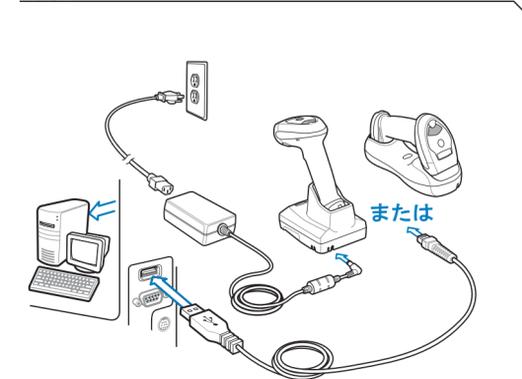
手順4-無線通信のホストタイプ

無線通信のホストタイプ

接続先のリモート機器に合わせて、次のバーコードをスキャンしてください。CR0078 クレードルに接続する場合は、クレードルのホストをスキャンします。詳細については、『Product Reference Guide』を参照してください。



USB



USB

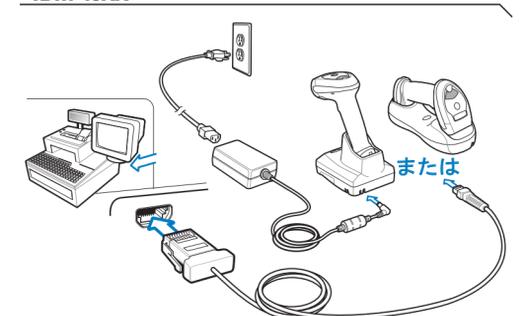
下のバーコードのいずれかをスキャンします



ベアリングの解除/切断

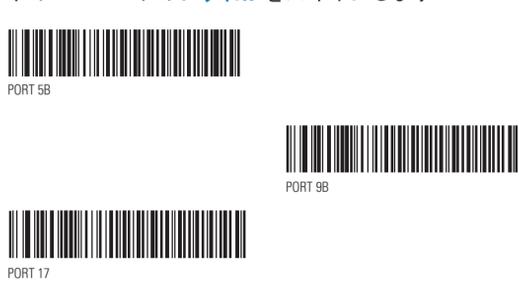


IBM 46XX

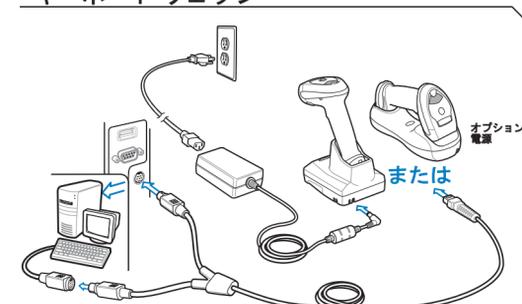


IBM 46XX

下のバーコードのいずれかをスキャンします



キーボードウェッジ



キーボードウェッジ

次のバーコードをスキャンします



有用なバーコード

デフォルト設定



工場出荷時の設定に戻す

バッテリーオフ



長期間保管/輸送時のバッテリーオフ

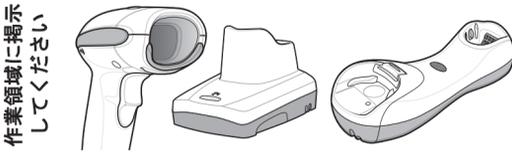
123SCAN²

123Scan2 は、バーコードや USB ケーブルを利用して、迅速かつ簡単にカスタムセットアップ可能な、使いやすい PC ベースのソフトウェア ツールです。詳細については、<http://www.zebra.com/123scan2> をご覧ください。

L4278 LINEAR IMAGER

スキャン

照準



012345



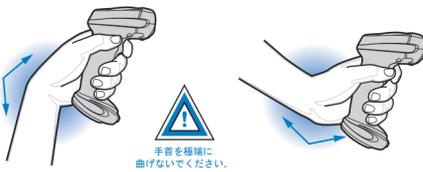
012345

推奨使用ガイド - 負担がかからない姿勢

手を極端に曲げないでください。

腰を曲げて作業しないでください。無理に腕を曲げないでください。

衛生および安全に関する推奨事項



人間工学に基づく推奨事項

注意: 人間工学上の被害を受けるリスクを回避または最小限に抑えるため、以下の推奨事項に従ってください。安全に関する社内規定に従って本製品を使用していることを衛生/安全管理担当者に確認し、従業員の負傷を防いでください。

- 同じ動作の繰り返しは、極力減らすかなくすようにしてください。
- 自然な姿勢を保ってください。
- 過度に力が必要な動作は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 頻繁に使用するものは手の届く範囲内に配置してください。
- 作業は、適切な高さで行ってください。
- 振動が発生する作業は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 直接圧力を受ける作業は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 調整可能なワークステーションを用意してください。
- 適切な距離を保ってください。
- 適切な作業環境を用意してください。
- 作業手順を改善してください。

ビー音の定義

標準的な用途

低音-中音-高音 ビープ音	中音の短いビープ音	4回の長い低音	短いビープ音 4回
電源投入	バーコードが読み取られました。	データ転送エラーが発生しました。このデータは無視されます。	バッテリーの充電量低下

パラメータメニューのスクリーン

高音-低音-高音-低音 ビープ音	高音-低音 ビープ音	低音-高音 ビープ音	
パラメータ設定が正常に行われました。	正しいプログラミングシーケンスが実行されました。	プログラミングシーケンスが正しくないか、「キャンセル」バーコードがスキャンされました。	

無線動作時

高音-低音-高音-低音 ビープ音	高音-低音 ビープ音	低音-高音 ビープ音	
ペアリングバーコードをスキャンしました。	Bluetooth接続を解除しました。	Bluetooth接続を確立しました。	

ハンドヘルドスキャン

オフ	緑色	赤色
スキヤナに給電されていないか、または電源が投入され、スキャン待機状態です。	バーコードが正常に読み取られました。	データ転送エラー

ハンズフリー(プレゼンテーション)スキャン

オフ	緑色	一瞬調光	赤色
スキヤナに電源が供給されていません。	スキャン可能な状態です。	バーコードが正常に読み取られました。	データ転送エラー

充電

オフ	緑色にゆっくりと連続して点滅	緑色に速く連続して点滅	緑色に点灯
スキヤナに電源が供給されていません。	バッテリー温度に関して重大ではない問題が発生しました。	スキヤナが充電中です。	スキヤナの充電が完了しました。

お問い合わせ先

トラブルシューティング

スキヤナが動作していません。

スキヤナに電源が供給されていません。	スキヤナが無効になっています。
システムの電源を確認してください。バッテリーが充電されている可能性があります。クレードルにセットして充電してください。バッテリーカバーが開いていることを確認してください。バッテリーのエンドキャップがきちんとはまっているかを確認してください。	正しいインタフェースケーブルが使用されているかを確認してください。

バーコードは読み取られていますが、ホストにデータが転送されていません。

スキヤナで正しいホストインタフェースがプログラムされていません。	スキヤナがホスト接続インタフェースにペアリングされていません。	インタフェースケーブルの接続が緩んでいます。	クレードルがホストへの接続を切断しました。
適切なホストパラメータのバーコードをスキャンしてください。	スキヤナをクレードルとペアリングしてください。	すべてのケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。	次に示す順番で操作を行ってください。電源を取り外します。ホストケーブルを取り外します。1秒間待機します。ホストケーブルを接続しなおします。電源を再接続します。ペアリングを設定しなおします。

LEDがバッテリー残量が少なくなった状態で起動したことを示しています。

バッテリー残量が少なくなった状態で起動しました。	クレードルの通信エラー
LEDが赤色から、スキヤナが充電中であることを示す緑色に変わるまで待ちます。	スキヤナをクレードルから取り外して差し込み直して、接続を確認します。

スキヤナでバーコードを読み取れません。

スキヤナでバーコードタイプがプログラムされていません。	バーコードが読み取れません。	スキヤナとバーコードとの距離が適切ではありません。
スキヤンしようとしているバーコードのタイプを読み取るようプログラムされているかを確認してください。	バーコードに汚れがないか確認してください。同じバーコードタイプでスキヤンテストを行ってください。	スキヤナをバーコードに近づけるか、または離してください。

スキャンされたデータがホスト上で正しく表示されていません。

スキヤナで正しいホストインタフェースがプログラムされていません。	適切なホストパラメータのバーコードをスキャンしてください。
----------------------------------	-------------------------------

LEDがバッテリー温度を示しています。

バッテリーの温度が、通常の動作温度以上または以下になっています。	スキヤナの使用を中止してください。スキヤナを通常の動作温度範囲内の場所へ移動します。詳細については、『Product Reference Guide』を参照してください。
----------------------------------	---

有用なバーコード

ENTER キーの挿入

データをスキャンする度に Enter キーを挿入する場合は、この3つのバーコードを数字の順にスキャンしてください。

1 スキャンオプション

2 <DATA>-<SUFFIX 1>

3 ENTER

TAB キーの挿入

データをスキャンする度に TAB キーを挿入する場合は、左の3つの Enter キーバーコードを数字の順にスキャンしてください。次に、下の5つのバーコードを数字の順にスキャンしてください。

1 SCAN SUFFIX

2 7

3 0

4 9

5 0

規制に関する情報

電源アダプタ

が認定している電源のみを使用してください。この電源は、ULCSA 60950-1 に記載されており、SELV 出力について IEC60950-1 および EN60950-1 で認定されています。その他の電源を使用した場合、この機器に対する保証事項はすべて無効になります。また、安全に使用できません。

保証

Zebra のハードウェア製品の保証については、次のサイトにアクセスしてください <http://www.zebra.com/warranty>

サービスに関する情報

本機器の使用に問題が発生する場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステムサポートにお問い合わせください。本機に関する場合は、各地域の技術サポートまたはシステムサポートの担当者が、次のサイトへお問い合わせできます。 <http://www.zebra.com/support> このガイドの最新版については、弊社 Web サイト (<http://www.zebra.com/support>) でご確認ください。

電気電子機器の廃棄処理規制 (WEEE)

English: For EU Customers: All products at the end of their life must be returned to Zebra for recycling. For information on how to return product, please go to: <http://www.zebra.com/wee>

Bulgarian: За клиентите в ЕС: След края на ползването ни изпратете всички продукти за рециклиране до Zebra за рециклиране. За информация относно връщането на продуктите, моля, отидете на адрес: <http://www.zebra.com/wee>

Czech: Pro zákazníky v EU: Všechny produkty je nutné po skončení jejich životnosti vrátit společnosti Zebra k recyklaci. Informace o způsobu vrácení produktu najdete na webovém stránce: <http://www.zebra.com/wee>

Danish: Til kunder i EU: Alle produkter skal returneres til Zebra til genanvendelse, når de er udtjente. Læs oplysningerne om returnering af produkter på: <http://www.zebra.com/wee>

Deutsch: Für Kunden innerhalb der EU: Alle Produkte müssen am Ende ihrer Lebensdauer zur Rückgabe an Zebra zurückgeschickt werden. Informationen zur Rücksendung von Produkten finden Sie unter: <http://www.zebra.com/wee>

Estonian: Kõik tooted, mida kasutatakse, tuleb pärast kasutamist tagastada Zebra ettevõttele taaskasutamiseks. Täpsem informatsioon tootete tagastamiseks leiate aadressil: <http://www.zebra.com/wee>

Spanish: Para clientes en la Unión Europea: todos los productos devueltos pertenecen a Zebra al final de su ciclo de vida para que sean reciclados. Si desea más información sobre cómo devolver un producto, visite: <http://www.zebra.com/wee>

French: Pour les clients de l'Union Européenne: Tous les produits en fin de cycle de vie doivent être retournés à Zebra pour recyclage. Pour de plus amples informations sur le retour de produits, consultez: <http://www.zebra.com/wee>

Italiano: per i clienti dell'UE: tutti i prodotti che sono giunti al termine del rispettivo ciclo di vita devono essere restituiti a Zebra al fine di essere riciclati. Per informazioni sulla modalità di restituzione, visitate il seguente sito: <http://www.zebra.com/wee>

Nepali: ES klientem: ES klientem: visat produkti paka to palopranam mada begham y jhanchi apaka Zebra cmaegre gharneke. Lai ngaha informacj par produkti rogadaaru Zebra. loida, skatet: <http://www.zebra.com/wee>

Turkish: ES Müşterileri için: Kullanım süresi dolan tüm ürünleri geri döndürümlere Zebra'ya size adanmıştır. Ürünleri nasıl teslim edeceğinizi hakkında bilgi için lütfen aşağıdaki adresi ziyaret edin: <http://www.zebra.com/wee>

トルコの WEEE 準拠の宣言

EEE Yönetimigine Uygundur

人間工学に基づく推奨事項

注意: 人間工学上の被害を受けるリスクを回避または最小限に抑えるため、以下の推奨事項に従ってください。安全に関する社内規定に従って本製品を使用していることを衛生/安全管理担当者に確認し、従業員の負傷を防いでください。

- 同じ動作の繰り返しは、極力減らすかなくすようにしてください。
- 自然な姿勢を保ってください。
- 過度に力が必要な動作は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 頻繁に使用するものは手の届く範囲内に配置してください。
- 作業は、適切な高さで行ってください。
- 振動が発生する作業は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 直接圧力を受ける作業は、極力減らすかなくすようにしてください。
- 調整可能なワークステーションを用意してください。
- 適切な距離を保ってください。
- 適切な作業環境を用意してください。
- 作業手順を改善してください。

LED デバイス

IEC/EN60825-1:2001, EN 62471:2009 および IEC62471:2006 Class I LED 出力に準拠しています。

LED 出力: このデバイスには照射と照準合わせのための2つのLEDが含まれています。

照準/照射
光出力: 0.87mW
パルス持続時間: 連続
発光波長: 590 ~ 650nm

特定の光学機器 (ルーペ、拡大鏡、顕微鏡など) で LED 出力を見ると、目に損傷を与える危険性があります。注意: ここで指定されている以外の方法での取り扱いは、LED 光線により怪我をする恐れがあるため危険です。

Bluetooth® 無線テクノロジー

本機は、承認済みの Bluetooth® 製品です。詳細な情報または最終製品の一覧については、次の Web サイトを参照してください。 <https://www.bluetooth.org/tgpt/listings.cfm>

無線機器に関する各国の承認

規制に関するマークは、使用する無線が、米国、カナダ、日本、中国、韓国、オーストラリア、ヨーロッパ1および2で承認されている機器に付けられています。

その他の国のマークについては、「適合宣言」文書 (DoC) を参照してください。この文書は、<http://www.zebra.com/doc> から入手できます。

注意: 1.24GHz または 5.8GHz の製品の場合、「ヨーロッパ」とは、オーストラリア、ベルギー、ブルガリア、チェコ共和国、キプロス、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア共和国、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリスを指します。

注意: 2.RFID デバイスは、使用にあたってさまざまな制限があります。詳細は Zebra の「適合宣言」文書 (DoC) を参照してください。

規制準拠の承認を受けていない機器の使用は違法行為となります。

動作周波数: FCC および IC
2.4 GHz のみ
米国内において 802.11b/g の利用可能なチャンネルは 1 から 11 です。チャンネルの範囲はファームウェアにより制限されています。

無線機器の使用上の注意

無線機器の使用に関するすべての警告をよくお読みください。

航空機での安全
空港または航空会社のスタッフの指示に従って、無線機器の電源を切ってください。お使いの機器に「フライトモード」などの機能が備わっている場合は、航空会社のスタッフにその旨を説明し、使用可能かどうかを確認してください。

病院内で安全

無線機器は無線周波数エネルギーを放射するため、医療機器に悪影響を与える可能性があります。病院、クリニック、または医療施設の使用に従って、無線機器の電源を切ってください。このような指示は、電波の影響を受けやすい医療機器に対する干渉を防ぐためのものです。

ペースメーカー

ペースメーカーの製造業者は、ペースメーカーへの干渉を防ぐため、ハンドヘルドの無線機器とペースメーカーを 15cm 以上離すように推奨しています。これは、Wireless Technology Research が独自に調査した推奨値とも一致しています。

ペースメーカーの使用

無線機器の電源が入っている場合は、常に、ペースメーカーから 15cm 以上離してください。

- 無線機器を胸ポケットに入れないでください。
- ペースメーカーの誤作動の可能性を最小限にするため、ペースメーカー一極込み部位と反対側の耳で通話してください。
- 悪影響の可能性がある場合は、必ず無線機器の電源を切ってください。

その他の医療機器

担当医師または医療機器の製造業者に、お使いの無線機器が与える医療機器への悪影響についてご確認ください。

無線周波放射に関するガイドライン

安全性に関する情報
無線周波放射の照射/適切な使用
機器は必ず付属の手冊に従って操作してください。

北米以外
この機器は、無線機器から発生する電磁場が人体に与えられる場合に、国際的に認められた標準値を満たしています。電磁場が人体に与えられる場合の「国際的」情報については、Zebra の「適合宣言」文書 (DoC) を参照してください。この文書は <http://www.zebra.com/doc> から入手できます。

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 装置を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近く可燃性の物質および食品を置かないでください。業務環境以外で装置を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、ユーザーガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイルデバイスバッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、Zebra Support にお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として使用するデバイスは、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンスプログラムで認証された製品のみに接続することができます。
- 分解または外殻を開くこと、粉砕、圧縮または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の装置を壁面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因となる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリーターミナルに接触させたりしないでください。
- 浸漬や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火災、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジオエタやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 充電がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に従ってすみやかに廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは規制に従ってください。
- バッテリーを飲み込んだ場合は、ただちに医師の診断を受けてください。

無線電波干渉についての要件 - FCC

注: この機器は、FCC 規制第 15 部に定められた Class B デジタル機器に関する制限に従ってテストされ、これに準拠するものと認定されています。この制限は、この機器を住居内で使用する際に有害な電波干渉を起さないために規定されたものです。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、および放射する可能性があります。また、指示に従わずに設置、および使用干渉が発生しないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な電波干渉を引き起こし、機器の電源のオン/オフ操作によってそのことが確認できる場合、以下の方法を用いて、お客様ご自身で電波干渉の解決を試みることができます。

- 受信アンテナの方向または場所を変えてください。
- 本機器と受信機の距離を離してください。
- 受信機が接続されているものは別の回路のコンセントに本機器を接続してください。
- 販売店またはテレビ/ラジオの専門技術者に相談してください。

ラジオトランスミッター (第 15 部)

この機器は、FCC 規制第 15 部に準拠しています。この機器の動作は、次の2つの条件を前提としています:

- (1) この機器は有害な干渉を発生させません。
- (2) この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。

この装置は FCC 規制第 15 部 (Part 15) に準拠しています。この装置の動作は、次の2つの条件を前提としています:

- (1) この機器は有害な干渉を発生させません。
- (2) この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。

この装置は FCC 規制第 15 部 (Part 15) に準拠しています。この装置の動作は、次の2つの条件を前提としています:

- (1) この機器は有害な干渉を発生させません。
- (2) この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。

この装置は FCC 規制第 15 部 (Part 15) に準拠しています。この装置の動作は、次の2つの条件を前提としています:

- (1) この機器は有害な干渉を発生させません。
- (2) この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。

無線電波干渉についての要件 - カナダ

この Class B デジタル機器は、カナダの ICES-003 に準拠しています。Cat appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

ラジオトランスミッター

この機器は、Industry Canada の RSS 210 に準拠しています。この機器の動作は、次の2つの条件を前提としています:

- (1) この機器は有害な干渉を発生させません。
- (2) この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。

この装置は FCC 規制第 15 部 (Part 15) に準拠しています。この装置の動作は、次の2つの条件を前提としています:

- (1) この機器は有害な干渉を発生させません。
- (2) この機器は、不適切な動作の原因となり得る干渉も含め、受信したあらゆる干渉の影響を受けません。

無線電波干渉についての要件 - EEA

EEA 地域で Bluetooth® 無線テクノロジーを使用する場合、次の制限があります。

- 最大無線送信電力 100 mW EIRP、周波数範囲 2.400 ~ 2.4835 GHz

その他の国

ブラジル
Declarações Regulamentares para L4278
NOTA: A marca de certificação se aplica ao Equip. de Radiação Restrita, modelo L4278. Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito a proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Para maiores consultas sobre ANATEL consulte o site: www.anatel.gov.br

メキシコ
周波数範囲: 2.450 ~ 2.4835GHz に制限
韓国
2400 ~ 2483.5MHz、または 5725 ~ 5825MHz を使用する無線機器について、次の2つの式が適用されます。

당해 무선설비의 운용 중 전파혼신 가능성이 있음
당해 무선설비 는 전파혼신 가능성이 있으므로 민간인권과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

台湾
臺灣
低功率電波輻射性電機管理辦法
第十二條
經型式認證合格之低功率射頻電機,非經許可,公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條
低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信;經發現有干擾現象時,應立即停用,並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信,指依電信規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

日本 (VCCI) - 電波障害自主規制協議会

Class B 情報処理装置
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Class B 情報技術装置に関する警告 (韓国)

기종별	사용자 안내
B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합성을 갖춘 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

Zebra Technologies Corporation
Lincolnshire, IL, U.S.A.

Zebra および图案化された Zebra マークは、ZIH Corp. の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

© 2016 Zebra Technologies LLC, a subsidiary of Zebra Technologies Corporation. All rights reserved.

L4278 LINEAR IMAGER